

NO28 幕藩体制の成立

STEP1 政治史は平易な問題が多い。初期外交がめんどい。

NO231 江戸時代の幕府と朝廷

江戸時代における幕府と朝廷について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 幕府と朝廷の連絡は、公家の中から幕府が任命した武家伝奏が担当した。
- ② 幕府は朝廷の統制のために、京都守護を設置した。
- ③ 禁中並公家諸法度で、天皇は学問を修めることができなかった。
- ④ 武家の官位の授与には、幕府の承諾が必要になった。

答→②京都守護は1185年に設置された鎌倉幕府の機関である。武家の官位はすべて幕府が決定し、天皇は決定に従った。

NO232 朝幕関係 2012 本

年代の古い順に並び替えよ。

- I. 後水尾天皇が事前に幕府と相談せず、徳川秀忠の孫の明正天皇に譲位した。
- II. 光格天皇が実父に尊号を送りたいと望んだが、老中松平定信はこれを拒否し、関与した公家を処罰した。
- III. 新井白石の進言などにより、閑院宮家が創設された。

正解→I-III-II 猫間(∩▽∩)

NO233 江戸時代の政治・外交 2003 追

江戸時代の政治・外交に関する次の文章A・Bを読み、下の問いに答えよ。

A 江戸時代には、全国に大名が配置されていた。摂津国北部の麻田(現大阪府豊中市)地方を支配した青木一重は、はじめ豊臣氏に仕えていたが、【ア】で豊臣氏が滅亡すると、徳川家康に許されて(a)大名に取り立てられた。一重のあとを継いで麻田藩2代藩主となった重兼は、黄檗宗を開いた【イ】に帰依して多くの寺院を造営した。

問1 空欄【ア】【イ】に入る語句の組合せとして正しいものを①～④から1つ選べ。

- ① ア 関ヶ原の戦い イ 隠元 ② ア 大坂夏の陣 イ 隠元
- ③ ア 関ヶ原の戦い イ 沢庵 ④ ア 大坂夏の陣 イ 沢庵

正解→②

NO234 江戸時代の大名 2003 追

問2 下線部(a)大名に関連して、江戸時代の大名と幕府の関係について述べた文として正しいものを、①～④から1つ選べ。

- ① 青木氏のような大名は譜代大名とよばれる。✖譜代でなく外様
- ② 大名は領民の数に応じて、将軍への軍役をつとめた。領民の数✖石高に応じて
- ③ 徳川秀忠は武家諸法度を改訂して、大名に参勤交代を義務づけた。秀忠✖家光
- ④ 幕府は改易・減封・転封を行って大名を統制した。○

正解→④

NO235 徳川三代 2007 本

1604年に生まれた【ウ】は、自らの武力で天下を掌握した祖父や父と異なり、生まれながらに将軍の孫であった。彼は、20歳(数え歳)のとき、父を継いで将軍職に就いた

が、政治の実権は大御所となった父が握っていた。彼が自身で本格的に政治を行ったのは、その9年後に父が没してからであった。自ら実権を握った彼は積極的に政治を主導し、このころまでに、【エ】の制度など、幕府の基礎となる多くの制度が確立した。(b)対外関係の枠組みが整ったのもこの時期であった。

問3 空欄【ウ】【エ】に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから1つ選べ。

- ① ウ 徳川家光 エ 五大老 ② ウ 徳川家光 エ 老中
- ③ ウ 徳川秀忠 エ 五大老 ④ ウ 徳川秀忠 エ 老中

正解→②

NO236 江戸時代の寺社・宗教 2005 本試

安土・桃山時代および江戸時代の寺社や宗教について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 寺社のなかには、幕府から領地を与えられるものがあつた。
- ② 新たな民衆宗教として幕末に金光教が創始された。
- ③ 方広寺の鐘銘問題がきっかけとなり、禁教令が出された。
- ④ 有馬晴信は、キリスト教を信仰した大名である。

正解→上野の寛永寺が著名である。方広寺の鐘銘問題で大阪の役だから→③

37 江戸幕府の成立

将軍	政治	戦乱
初代 家康	②1603 江戸幕府成立 家康 <u>征夷大將軍</u> 就任 後陽成天皇による ③1605 将軍 <u>秀忠</u> に 家康駿府に移り <u>大御所</u> に →将軍職は徳川家世襲を示す	①1600 ✖ <u>関ヶ原</u> の戦い ○徳川家康 VS 石田三成● →大名の扱いの分かれ目
2代 秀忠	③1615 <u>一国一城令</u> <u>福島正則</u> →改易 ④1615 <u>武家諸法度</u> <u>元和令</u> 大名が守るべき誓約。... <u>家康</u> ...の命で 起草 = <u>金地院崇伝</u> ⑤1615 <u>禁中並公家諸法度</u>	①1614 ✖ <u>大坂冬の陣</u> 方広寺「国家安康、君臣豊楽」難癖つけた! ②1615 ✖ <u>大坂夏の陣</u> 徳川氏 VS 豊臣秀頼 豊臣氏滅亡 → <u>元和優武</u> ... ⑥1616 家康死去

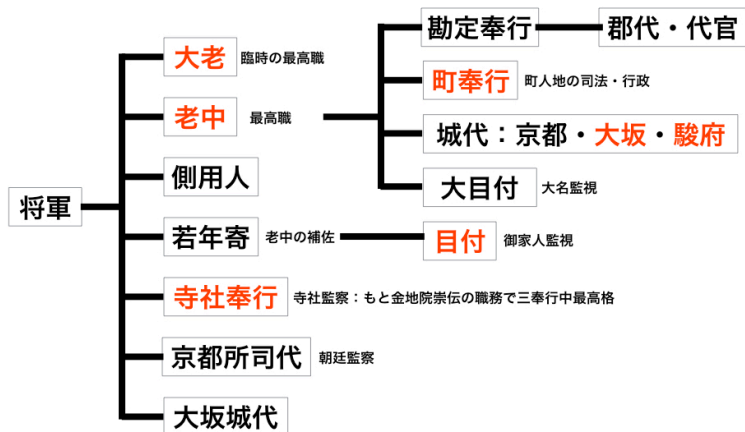
文治派 石田三成、小西行長 武断派 加藤清正、福島正則

- (1)軍事力 = 将軍直属の家臣団と諸大名の負担する軍役で成立
旗本と御家人...将軍直属の家臣で 知行高1万石未満 の者
旗本 ...将軍お目見え可
御家人 ...将軍お目見え不可
- (2)経済力 2643万石が全体



- ①直轄領 400 万石（17 世紀末）
- ②主要鉱山…佐渡・伊豆・但馬生野・石見大森
- ③重要都市の直轄…江戸・京都・大阪・長崎・堺

幕藩体制を支える体制



論点

- ① 重職： **大老**（非常置の最高職）・ **老中**（政務を統括）・ **若年寄**（老中補佐）など。重職には→ **譜代大名** が任じられた。
- ② **三奉行**： **寺社奉行**（統制） **町奉行**（江戸支配） **勘定奉行**（幕府の財政運営・幕領の訴訟など）の総称。
- ③ **権力集中の排除**：幕府の要職は **月番交代**（1ヶ月交代の意味）で、重要事項は **合議制**をとった。例、江戸幕府の最高司法機関の **評定所**では、 **老中や三奉行**などの合議である。

大名統制

- ①大名の区分：将軍と主従関係を結んだ知行高 **1万石以上の武士を大名** といひ、大名の領地とその支配機構の総称を **藩** という。大名は将軍と親疎の関係で親藩・譜代・外様に分けられ、幕府は、親藩・譜代大名を **要所** に、有力な外様大名をなるべく **遠隔地** に置いた。
 - ・ **親藩**…徳川氏一門の大名、御三家（尾張・紀伊・水戸）

- ・ **譜代**…関ヶ原の戦い以前から徳川氏の家臣であった大名（井伊氏）
 - ・ **外様**…関ヶ原の戦いの後徳川氏に従った大名（前田・島津）
- ②武家諸法度：大名統制の基本法。将軍の代替りに発するのを原則。この法度に違反した大名は **改易**（領地没収）、**減封**（領地削減）、**転封**（国替）などの処罰を受けた。

福島正則の改易

福島正則は広島城が大水に遭い、修理したいと幕府の役人に届け出た。これが将軍に伝えられていなかった。武家諸法度違反で広島 49 万石から信州川中島 5 万石に転封。
 ・軍役については 1616 年に示され、おおむね 100 石について 2 人。それまでは 3 人だった。土木工事なども軍役として課されていた

史料研究（寛永令）
 一、文武弓馬の道、専ら相嗜むべき事。
 一、大名小名、在江戸の交替相定むる所なり。毎歳夏四月中参勤致すべし。従者の員数近来甚多し。且は国郡の費、且は人民の勞なり、向後其相応を以て一、五百石以上ノ船停止ノ事。

史料研究 武家諸法度『元和令』
 一 **文武弓馬** の道、専ら相嗜むべき事。
 一 諸国の **居城**、修補なすと雖も、必ず言上すべし。況んや新儀の構営硬く停止せしむる事。…
 慶長廿年七月



広島城と北高 44 期生 ③

参観交代

- ・ 制度化の意図→平和な時代にふさわしいかたちで、諸大名の軍事力を総動員することをめざした。
- ・ 制度化の結果→江戸や街道沿いの宿駅の繁栄をもたらす一方で、大名にとっては大きな経済的負担となった。大名の弱体化を意図したものではない…
- ④ **地方知行制から俸禄制度へ**：大名は、初期には領内の有力武士に領地を与える **地方知行制** をとる場合もあったが、しだいに武士を城下町に集住させて藩政を分担させ、領内一円支配を進めた。17 世紀半ばになると、多くの藩は、地方知行制から **俸禄制度**（藩の直轄領からの年貢を蔵米として家臣に支給する制度）に移行していった。

将軍	政治	戦乱
3代 家光	①1635 武家諸法度 寛永令 家光 の発布	

<p>(1) <u>参観交代</u> の制度化 → <u>人質</u> の確保と <u>大名</u> の勢力削減 妻子を江戸に、<u>1</u> 年ごとに江戸往復 → 交通費、江戸生活費の多大な出費で経済力失わせる (2) <u>500石</u> 以上の船の建造禁止</p>	<p>② 1637 ✕ <u>島原の乱</u></p>
---	-----------------------------

朝廷統制

- ① 京都所司代：朝廷の統制と西国大名の監視
- ② 武家伝奏：公家から選出。朝廷と幕府をつなぐ窓口として、朝廷に幕府側の指示を与えた。幕府優位を演出。
- ③ 禁中並公家諸法度 (1615) = 天皇の政治活動抑圧
 天皇・朝廷が権力を持つことや、諸大名が朝廷に結びつくことを防止しようとした。京都御所を取り囲むように大寺院が建立されている。知恩院、南禅寺、意味深い。
- ④ 紫衣事件 1627~29
御水尾天皇 が幕府に了解を得ず大徳寺などの僧侶に紫衣着用を勅許したことを問題にし、これを取り消した。翌々年、これに抗議した 大徳寺 の 沢庵 が流罪にされた。これを機に御水尾天皇は譲位し明正天皇となった。
勅許よりも法度が上位に位置する ... ことをはっきりと朝廷に示した事件。
 出羽に流された沢庵はその最中に 沢庵漬 を考案。崇伝亡き後、罪が許されて家光が帰依。定かではないが…？

寺社統制 今の京都に立派な寺社があるのは家康と家光のおかげ！

- 寺院法度 = 宗派ごと、活動の抑圧
 学問を奨励し、本山末寺の制を定める。
- ① 本末制度 = 本寺による末寺の統制 1665
 本寺が末寺に住職を派遣する。幕府は本寺を保護し、本寺と幕府は権力という点で癒着してゆくの、本寺を抑えれば全体が抑えられる。末寺が本寺を訴えても、幕府の裁判では絶対に勝てない。
- ② 寺請制度 = キリスト教禁教策、どこかの寺の檀那として登録
寺請制度は島原の乱後に確立。1640年、宗門改役を設置。1664年には諸藩にも命じる。1671年、宗門人別帳が毎年作られることになった。
 キリスト教徒でないことを証明するため、どこかの寺の檀那になることを義務づけるものだ。出生・死亡の際に寺に届けて、人別帳に記載。寺の役所になり葬式出してカネが入る。葬式仏教のさきがけである。